

八戸市地域おこし協力隊活動状況報告書

八戸市長
熊谷 雄一 殿

隊員氏名 福岡 沙織

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2023年3月分】

1. 実施した活動の概要・状況

物産業務では、ふるさと寄附金業務、ECサイト・ローカルマーケットオンラインショップ運営及びSNSによる広報活動を行った。また、広報業務では、ホームページ掲載用の取材同行、先進的な観光まちづくりに取り組むDMOの視察及び新商品発表会・試食会に参加した。

(主な活動)

◇3月20日(月)株式会社かまいしDMC視察(岩手県釜石市)

観光地域づくりの先進地である株式会社かまいし DMC (岩手県釜石市) の視察に参加した。同団体は、東日本大震災の経験をもとに震災から学ぶ組織やまちづくりをプログラム化し、企業研修、ワーケーション、そして修学旅行に向けてサービスを提供している。河東代表取締役が、「観光資源を新たに作り出すのではなく、元々地域が持っているものや経験を観光資源にする」と発言されていたのが印象的であった。私たちが住む八戸圏域8市町村は、観光資源はもちろん、唯一無二の伝統文化や自然環境、人材も十分にあると思う。しかし、全国的な認知度は高いとは言えないのが現状であるため、うまくアピール、観光資源として経済的効果をもたらすことができれば、全国に誇る観光地になり得るのではないかと感じた。今回学んだことを念頭に、地域おこし協力隊として地域活性化に取り組んでいきたい。



津波で流された小中学校の跡地に建設された、ラグビーワールドカップ会場「釜石鶴住居復興スタジアム」(左) 震災伝承施設「いのちをつなぐ未来館」(右)

◇3月23日(木) 八戸たけわ食堂新メニュー発表会・試食会

蕪島に隣接する蕪島物産販売施設かぶーにゃの新メニュー発表会・試食会に参加した。八戸市の水産加工会社である武輪水産株式会社が新ブランド「八戸たけわ食堂」を立ち上げ、さらにかぶーにゃとコラボレーションし、3月27日から食事メニューとして提供を開始した。また、この取組はVISITはちのへと連携して実現したもので、広く広報するために熊谷市長を招待しての試食会を開催した。このセレモニーに私はSNS担当として参加し、新メニューや商品に対する武輪水産の担当者の思いなどを発信した。市長とマスコミが同席するようなイベントに参加したのは初めてだったが、翌日以降テレビやインターネットで数多く取り上げられているのを見て、改めてマスコミの影響を感じた。今後も、地域の魅力や地元の方の思いを多くの人に発信するために、マスコミに取り上げてもらえるようなイベントを企画したい。



新メニュー発表会・試食会



八戸たけわ食堂「昔ながらのさば味噌煮」

2. 翌月の活動予定

ふるさと寄附金業務、新規返礼品提案、ECサイト業務、SNS・情報発信、ホームページ掲載用取材、ラジオ出演